



# 山口県水道ビジョン 検討委員会（第3回）

令和2年2月13日

山口県生活衛生課水道班

1

## フォローアップ等について

2

## 1. 関係者の役割分担（1）

山口県の水道の理想像を踏まえた、基本理念である『安心・安全な水を未来へつなぐ』を実現するためには、施策を推進していく必要がある。

施策の実施に当たっては、関係者がそれぞれの状況や立場に応じ役割を果たすことが重要である。

このため、役割分担を示す。

### 【 県 】

- 水道事業者等に対し、国の補助金や交付金、地方債の活用や地方交付税に関する助言、技術・経営に関する助言や指導等を通じて、各種施策への取組を推進します。
- 広域連携の推進に当たっては、水道法において県に推進役としての責務が与えられていることを踏まえ、県全域にわたって検討・推進の場を提供し、水道事業者間の必要な調整や支援を行います。
- 水道法に基づく水道事業者等への指導監督を行うと共に、簡易専用水道等の衛生対策や、必要な情報の提供に努めます。
- 県民の水道に対する理解を深めるため、県内の水道に関する情報発信を行うとともに、水道事業者による広報活動への助言や支援を行います。
- その他、本県水道ビジョンに掲げた基本理念を念頭に置き、各種施策への取組に関する助言や指導等を行います。

## 1. 関係者の役割分担（2）

### 【水道事業者】

- 各事業の現状と課題を整理し、国の新水道ビジョン及び本県水道ビジョンで掲げる目標や方策に留意しながら、「経営戦略の策定」、「耐震化・更新計画の策定」、「アセットマネジメントの充実」を行い、将来を見据えた戦略的な事業経営に取り組むことが求められます。
- 広域的な連携強化についても、地域の実情に応じ、経営基盤や危機管理対策の強化等を図るための方策の一つとして検討することが重要です。
- 水道事業の経営状況の公開等を通じて、水道利用者との共通理解の促進や信頼関係の醸成に向けた取組が望まれます。

### 【水道用水供給事業者】

- 現状と課題を整理し、国の新水道ビジョン及び本県水道ビジョンで掲げる目標や方策に留意しながら、「経営戦略の策定」、「耐震化・更新計画の策定」、「アセットマネジメントの充実」を行い、将来を見据えた戦略的な事業経営に取り組むことが求められます。
- 受水している水道事業者と連携し、経営基盤や危機管理対策の強化を図るための方策の一つとして広域連携を検討することが重要です。

## 1. 関係者の役割分担（3）

### 【水質検査機関】

- 水質検査の信頼性の向上に努めるとともに、事業者に対する水道水質管理に係る的確な助言や、災害、水質異常時の協力を期待します。

### 【利用者】

- 利用する水道の現状や課題を十分に認識するとともに、県や水道事業者が取り組む各種施策に対して関心を持ち、協力することを期待します。

## 2. フォローアップ

山口県水道ビジョンは、『安心・安全な水道を未来へつなぐ』を基本理念として、安全・強靱・持続の観点から実現方策を検討していますが、10年間の目標設定期間中に社会環境や人口動態が大きく変化することも想定されます。

こうしたことから、本県水道ビジョン策定後に、県と県内の全ての水道事業者の意見交換や、施策の実施について話し合うための協議の場の設置等について検討してまいります。

また、県水道ビジョンの取組内容について、定期的にレビューして実施状況や他計画との整合性を確認するとともに、進捗に課題がある場合や新たなニーズがみられる場合には、必要に応じて、計画のさらなる推進や見直しを行っていきます。

これらを踏まえた、山口県水道ビジョンとしてのPDCAサイクルを以下のように示し、これに基づいて取り組んでまいります。

